

令和 8 年 7 月 27 日

世界保健機関（WHO）が広島大学を WHO 協力センター（WHO Collaborating Centre : WHOCC）に指定

広島大学（学長：越智 光夫）は、令和 8 年（2026 年）6 月 23 日付で、世界保健機関（WHO）より「緊急医療チームの情報管理に関する WHO 協力センター（WHO Collaborating Centre for Emergency Medical Teams Information Management）」に指定されました。

本指定により、本学は大規模災害や人道危機における WHO の国際保健活動および緊急医療チーム（EMT: Emergency Medical Teams）を国内外で情報管理面から支援する、国際的な学術拠点としての役割を担います。

世界保健機関協力センター（WHO Collaborating Centre : WHOCC）は、WHO が世界各国の大学や研究機関の中から、特定の分野における高い専門性と優れた実績を評価して指定する国際的な協力ネットワークです。現在、世界 80 以上の国・地域に 800 を超える協力センターが設置されています。日本国内では、国立感染症研究所や放射線影響研究所（RERF）など十数機関が指定されており、今回の指定は本学の国際的な研究・活動実績がトップレベルであると認められたことを示しています。

今回の指定は、本学が国内外のパートナー機関と緊密に連携しながら地道に積み重ねてきた災害医療および公衆衛生分野での実績が、国際的に高く評価された結果です。「災害対応大国」である我が国が培ってきた当該分野の強み・ノウハウを世界へ展開すると同時に、世界各地の多様な医療支援の取り組みから学びを得ることで、日本国内の災害医療体制のさらなる強化にもつなげる極めて重要な契機となります。



今後は WHO や国内外の関係機関との連携をさらに強化し、WHO 関係会合の開催、専門人材の育成、ジャパンメイドの防災 ICT システムの国際提供等国際共同研究等の推進を通じて、全ての被災傷病者が適切な医療にアクセスし続けられる体制構築に地球規模で貢献してまいります。

■ 指定の概要

センター名称：WHO Collaborating Centre for Emergency Medical Team Information Management

指定機関：広島大学（センター長：大学院医系科学研究科公衆衛生学：久保達彦教授）

指定期間：2026 年 6 月 23 日～2030 年 6 月 22 日

協力分野：緊急医療チームの情報管理

< 参考 > 災害医療の最前線で貢献-広島大学医学部 80 周年

<https://med80th.hiroshima-u.ac.jp/topics/04/>



写真提供：国際協力機構

< 参考：災害保健分野を専門とする WHOCC >

東ピエモンテ大学 CRIMEDIM（イタリア/ピエモンテ州）

災害医療、緊急医療、国際医療支援

兵庫県立大学（日本/兵庫県）

災害健康危機管理

量子科学技術研究開発機構（日本/千葉県）

放射線緊急医療

広島大学（日本/広島県）

緊急医療チームの情報管理

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保 達彦

Tel：082-257-5167

E-mail：huph-carp@hiroshima-u.ac.jp